

グループ別討議発表資料〔岐阜県〕

1 スクール・ミッションやスクール・ポリシーの策定状況

(1) スクール・ミッションの策定状況

- ・ 県の計画等に合わせて再定義する
- ・ スクール・ポリシーの策定にあたっては、岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会「審議まとめ (H28.3.29)」や「岐阜県教育振興基本計画 (H31.3)」等に基づく

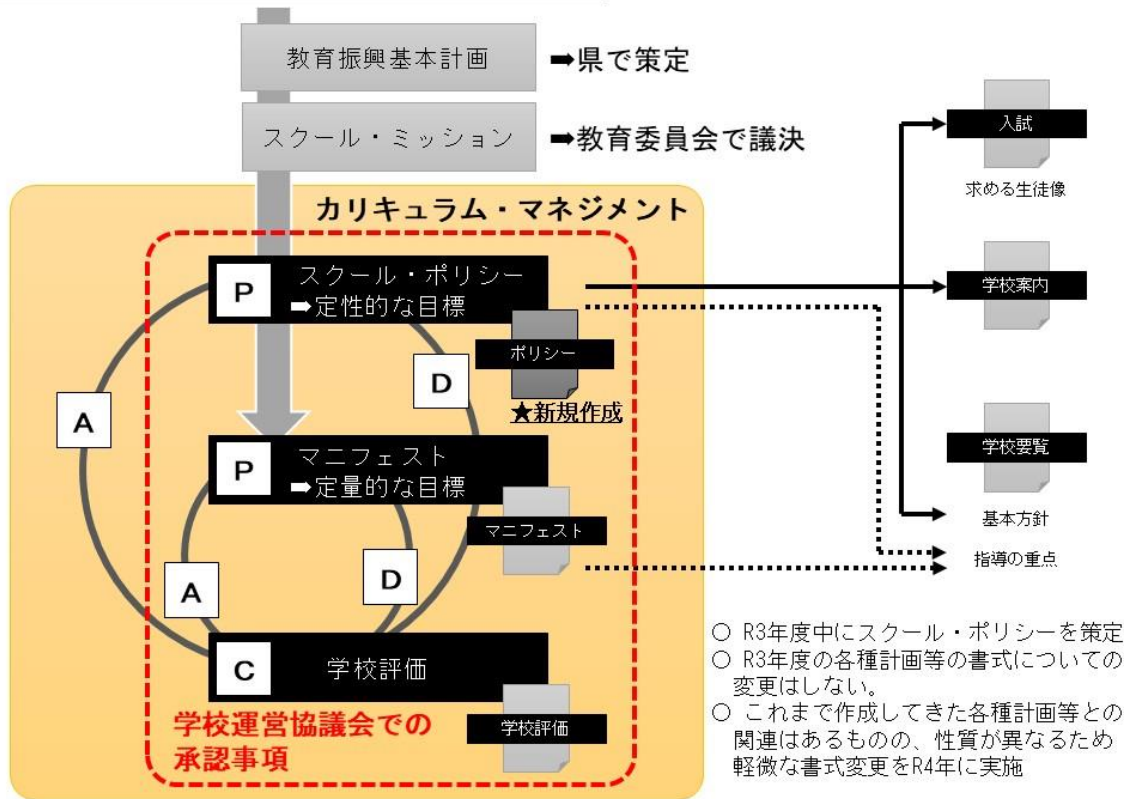
(2) スクール・ポリシーの策定状況

- ・ 策定スケジュール、公表時期

内容	日程	学校運営協議会
・「スクール・ポリシー（案）」を作成 〔※（案）を県に提出〕	…令和3年9月	第1回：趣旨説明資料1、意見聴取
		第2回：提案
・「スクール・ポリシー」を策定 〔※承認後、県に提出〕	…令和4年2月	第3回：承認
・各学校のホームページにて公表	令和4年3月	

(参考) スクール・ミッションとスクール・ポリシーの整理

■スクール・ポリシーと各種計画等との関係



2 高等学校の特色化・魅力化に向けた方策

(1) 県立高校の活性化の基本方針「グランドデザイン」

- ・ 高校の特性に応じた活性化の基本的な考え方を定め、具体的な活性化策を例示

	特 性	活性化の基本的な考え方	具体的な活性化策（例）
普通科等	選抜性の高い大学への進学が多い	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバルリーダーの育成 ○個別のより高度な学習ニーズへの対応 ○新大学入試制度や新学習指導要領を見据えた探究的な学びを積極的に展開 ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高等教育機関等の教育力を積極的に活用したより高度な学習機会の提供 ◆少人数による主体的・対話的で深い学びの推進 ◆進学重点型の単位制へ改編 ◆授業時間外の補習体制の充実 ◆大学卒業後の進路を見据えたキャリア教育の推進
	いわゆる中堅進学校	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習できる教育体制の構築 ○個別の進学希望へのきめ細かな対応 ○大学合格実績の向上 ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆進学希望別（コース別）教育課程編成、コースや系列の見直し ◆進学重点型の単位制へ改編 ◆授業時間外の補習体制の充実 ◆大学卒業後の進路を見据えたキャリア教育の推進
	進路先が多様	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な進路希望にきめ細かく対応 ○多様な生徒（中途退学経験者、不登校経験者、特別な支援を必要とする生徒等）への対応 ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆進路実現型の単位制や総合学科へ改編 ◆昼間2部（午前・午後）、通信制（平日スクーリングタイプ）への改編 ◆「少人数コミュニケーション講座」の開設 ◆デュアルシステムの導入・充実
総合学科	進路先が多様	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「少人数コミュニケーション講座」の開設 ◆デュアルシステムの導入・充実
専門学科	学科によって進路状況に違いがある	<ul style="list-style-type: none"> ○本県の地域産業を担う人材を育成 ○少子化に伴う学校の小規模化への対応 ○産業構造の変化等による新たなニーズへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域産業やニーズに応じた学科の再編成や学科名称の変更 ◆柔軟な定員設定や類型（くくり）募集 ◆学校規模にあった学科改編 ◆複数の専門学科併置校へ改編
定時制・通信制		<ul style="list-style-type: none"> ○多様な生徒、多様な学習ニーズや学習スタイルへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆夜間定時制を多部制に改編（昼間部の新設） ◆全日制タイプの高校に改編

（「岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ＜平成28年度＞」）

(2) 各学校の特色に応じた「ふるさと教育」の展開

- ・ 「ふるさと教育」の一層の充実を図り、ICTを活用して生徒が教科・科目の枠を超えた課題の解決に必要な情報収集や分析を行う協働的・探究的な学びを学校の特色に応じて展開

グローバルな視点で探究的な学びを推進する高校	地域の課題等をグローバルな視点で捉え、海外の関係機関等と連携して、課題を発見・解決する「探究的な学び」を推進
地域に密着した課題を発見・解決する高校	高校と地域の連携を通して、生徒が地域の魅力を知り、地域に密着した課題を発見・解決する「探究的な学び」を推進
地域との連携を深め、活性化する高校	高校と地域の連携により、地域と学校とが互いに知恵を出し合い、地域課題を発見・解決する学びを推進
地域の企業等と連携して実践的な学びを推進する専門高校	地域産業における各方面の専門家から直接学ぶ機会を増やし、地域と連携した実践的な学びを推進

（参考）資料2

(3) 学校運営協議会設置の推進

- ・ 全県立学校に学校運営協議会を設置（令和3年度～）

(4) 「岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ」の発表

- ・ 岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会「審議まとめ」における「県立高校活性化の基本理念」を踏まえ、県立高校の活性化に関する年度ごとの取組結果を「岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ」として毎年度取りまとめ、発表（<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/15757.html>）



岐阜県立高等学校では 「スクール・ポリシー」を策定します。

「スクール・ポリシー」とは

高等学校教育の入学者選抜時から卒業時までの教育活動を一貫した体系的なものに再構成するとともに、教育活動の継続性を担保するために作成するもので、次の3つの方針で示したものです。

- **グラデュエーション・ポリシー (GP) 『育てたい生徒像』**
卒業までに生徒にどのような力をつけるか示したもの
- **カリキュラム・ポリシー (CP) 『生徒をどう育てるか』**
そのために、学校全体として教育活動をどのように展開するのかを示したもの
- **アドミッション・ポリシー (AP) 『どんな生徒を待っているか』**
入学希望者へのメッセージとして、どのような生徒の入学を待っているか、学校でどのような学びができるかを示したもの



- 策定期間 令和4年3月

「スクール・ポリシー」策定に当たって

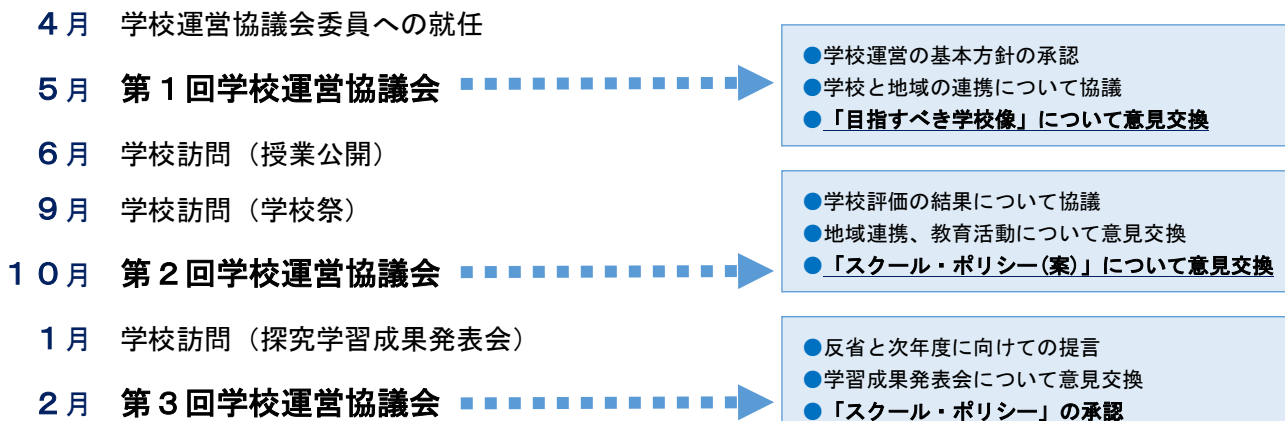
それぞれのお立場から、ご意見をお聞かせください。

- 学校に身近な関係者としての皆さんの意見を必要としています。
- 高等学校が、「地域の学校」としてどのような役割が期待されているのか、どのような高等学校を目指すのか、ご意見をお聞かせください。その上で、それぞれの高等学校でどのように生徒を育てていくのかについて話し合いを進めていきます。

学校の応援団となってください！

- 高等学校の特色化・魅力化に向けた取組には、地域との連携・協働が不可欠です。よりよい学校を作るためのアドバイスをお願いします。
- 学校の生徒育成方針や教育方針などについて理解や納得を深め、よりよい学校づくりに積極的にご参加ください。

「スクール・ポリシー」策定の1年間の流れについて(案)



※ 学校訪問（授業公開、学校祭、探究学習成果発表会等）は学校運営協議会と同日開催の場合もあります。

「スクール・ポリシー」の例

岐阜県立萩田高等学校 全日制課程
スクール・ポリシー（例）

令和4年3月策定

■ 教育目標

高い学力と豊かな人間性を育て、多様に変化する社会に対応し、将来世界で活躍できる人材を育成します。

◆ グラデュエーション・ポリシー（GP） 『育てたい生徒像』

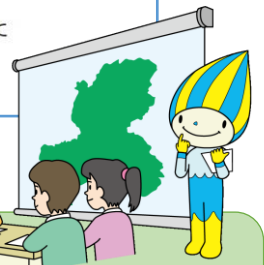
- ・ 思考力と的確な判断力を身に付け、主体的に他者と協働して課題解決に取り組む生徒
- ・ 多様な人々の互いの人格を尊重し、人と人とのつながりを大切にし、自らの役割と責任を果たせる生徒
- ・ グローバルな視点から問題の核心を把握し、その解決を目指し地域や社会に貢献できる生徒

◆ カリキュラム・ポリシー（CP） 『生徒をどう育てるか』

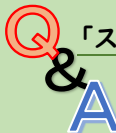
- ・ 課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進
- ・ 「探究的な学び」や教科学習、ICTの活用による、コミュニケーション能力と発信力の育成
- ・ 生徒一人ひとりの個性や長所を十分に伸ばし、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施

◆ アドミッション・ポリシー（AP） 『どんな生徒を待っているか』

- ・ 向上心を持ち、多様性を尊重し、他者と協働しながら主体的に学びたい生徒
- ・ 大学進学を目指し、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒
- ・ 地域活動などの校外の自主的な活動や、生徒会活動や部活動などの校内の活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒

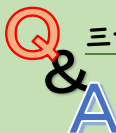


Q&A



「スクール・ポリシー」の対象期間はどのくらいですか。

「スクール・ポリシー」の対象期間は、岐阜県教育振興基本計画の期間と連動しているため、概ね3～5年間を対象期間としています。また、「スクール・ポリシー」は入学から卒業までの教育活動を一貫した体系的なものに再構成したものですので、概ね3～5年間が適切な対象期間と考えています。



三つの方針の運用上の名称は、「スクール・ポリシー」以外の独自の名称とすることはできますか。

三つの方針の運用上の名称は、岐阜県立高等学校においては、「スクール・ポリシー」として統一しますので、各高等学校において個別に定めることはできません。特に、「アドミッション・ポリシー（AP）『どんな生徒を待っているか』」については、中学生が志望する高校を考える際の資料の1つとなりますので、混乱を避けるため、県立高等学校内において統一した名称を使用しています。

STEAM教育等について

～中教審「答申」(R3.1.26)より～

STEAM教育

Science, Technology, Engineering, Liberal Arts, Mathematics

学びの特色

- 文系・理系の枠にとらわれない教科横断的な学び
- 実社会での問題発見・解決にいかす教科教育
- レポートやプレゼン等で課題を分析し、論理的に主張できる言語能力の育成
- 情報手段の基本的操作、論理的思考、情報モラル等を含めた情報活用能力の育成
- 探究学習の過程を重視、過程で生じた疑問や思考過程を記録、自己の成長過程を認識
- 芸術的な感性、心豊かな生活、社会的価値を創り出す創造性

地域や産業界等との連携

- 生徒が地域や産業界などと多様な接点
- 産業界等と連携し、実社会での問題発見・解決にいかす高度な内容
- 地域や高等教育機関、行政機関、民間企業等と連携・協働して探究学習を充実
- 学校内外の関係者による多様な視点、生徒の良い点や進歩の状況などを積極的に評価

新学習指導要領との関係

- 新学習指導要領での「総合的な探究の時間」「理数探究」等に共通点
- 教科横断的で、社会に開かれた教育課程を編成
- スーパーサイエンスハイスクール(SSH)などでの教育実践の成果を生かす

プログラミング教育

- 「情報活用能力」＝「言語能力」・「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け(新学習指導要領)
 - プログラミングを通して論理的思考力を育む
 - 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実が必要
 - 小学校でプログラミング教育の必修化
 - 中学校の技術・家庭科、高校の情報科で推進

これまでの取組(ふるさと教育)

～全ての高校で学校の特色に応じて展開～

普通科高校

- ✓ 地域の課題をグローバルな視野で捉えた探究的な学びを推進し、国際舞台や地域で活躍できる人材を育成
 - 岐阜、岐阜北、長良、岐山、加納、大垣北、大垣東、関可児、多治見北、恵那、斐太
- ✓ 大学や地元自治体等、関連機関等との協働により、地域の魅力を知り課題を発見・解決する学習を推進
 - 羽島北、各務原、各務原西、本巣松陽、羽島、大垣南、大垣西、郡上、武義、加茂、多治見、中津、益田清風

地域の小規模高校(グループ1・2の高校)

- ✓ 学校と地域を強く結びつける活動を通じて、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習をさらに推進
- ✓ 学校運営協議会を設置し、地域や保護者の理解・協力を得ながら、地域に根差した学校運営を促進
 - 山県、揖斐、池田、不破、海津明誠、郡上北、関有知、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅陵、恵那南、恵那農業、中津商業、中津川工業、坂下、高山工業、吉城、飛騨神岡

専門高校

- ✓ 産業界等との連携を通して、地域の資源を活用した取組を発展させ、地域産業を担う専門的職業人を育成
- ✓ 実践的・体験的に探究的な学びを推進し、学科横断的な取組を通じて、地域の課題解決に向けた取組を推進
 - 岐阜総合学園、岐阜城北、県岐阜商、岐南工、岐阜各務野、岐阜農林、岐阜工、大垣養老、大垣商、大垣工、大垣桜、郡上、武義、加茂農林、東濃実業、可児工、多治見工、土岐商、中津商、中津川工、益田清風、飛騨高山

R3年度 主な関連事業

<普通科高校、地域の小規模高校(グループ1・2)>

【継】地域共創フラッグシップハイスクール事業

地域の課題をグローバルな視野で捉えた探究的な学びを推進し、国際舞台や地域で活躍できるリーダー育成を図る
 <取組例> 国内外の大学、地域の産業界や海外展開する企業等、関連機関との連携による体験的活動 等

【継】地域課題探究型学習の推進事業

産官学の連携により、ICTの利活用によるデータ分析等の実践的な学びを通して、変化の激しい社会を主体的に生き抜く人材育成を図る
 <取組例> 地域との連携による出前授業等を活用した探究活動 等

【継】地域連携による活力ある高校づくり推進事業

学校の活性化に向け、地域と密接に連携した取組を通じ、各学校の特色に応じた探究的な学びを推進。地域創生の担い手となる人材育成を図る
 <取組例> ICTを活用した地域ガイドツアーの企画、観光客等への広報活動 等

<専門高校>

【新】デジタル化に対応した産業教育の環境整備

専門高校におけるデジタル化対応装置等の環境整備により、最先端の産業教育を実践する専門高校を実現する
 <取組例> 農作業の効率化・精度を向上できるデジタル機器、新技術や標準的な技術・技能の習得に必要なデジタル機器 等

【新】「見える化」による熟練技術の継承

教室と先端技術を扱う現場とをオンラインで中継し、専門的で実践的な技術・技能の習得を図る
 <取組例> 遠隔見守りシステムや介護ロボットの整備 等

【新】「スーパー・インクワイアリー・ハイスクール」推進事業

■岐阜(普通科)

- ・生徒による課題研究活動
- ・研究活動に係る競技会等への参加
- ・中学生の合同研究会への参加

■恵那(普通科・理数科)

- ・生徒グループによる理数系を中心としたテーマ研究
- ・中学生を対象とした「科学探究塾」を開催

■岐阜農林(農業科)

- ・先進技術の活用による農業分野の課題解決の研究
- ・小中学生を対象とした「スマート農業体験会」を開催

■高山工業(工業科)

- ・先進的なものづくり手法や文化分野におけるICT活用手法の研究
- ・小中学生を対象とした「ものづくり教室」を開催

■岐阜各務野(情報科)

- ・プログラミングの最適化、効率的な情報デザイン・三次元モデリングの研究
- ・小中学生を対象とした「出前講座」を開催

<ICTを基盤とした学びの改革>

【新】ICT情報基盤を最大限活用した教科教育の充実

- ◆ 「1人1台端末・学習支援ソフトやデジタル教材・オンライン等」を効果的に組み合わせ、学校や学科の特色、生徒の特性に応じた教科学習・課題解決型学習を推進

【新】ICT情報基盤を最大限活かす推進体制の構築

- ◆ ICTを基盤とした学習を推進するため、各学校では教員のICT関連業務を明確化・組織化、県教委事務局では「ICT教育推進室」の設置などの支援体制を強化
- ◆ 教員のICT活用能力の底上げを図るため、各教科でのICT教育力向上を目的とした教員研修や、公開授業動画の共有等による教員の授業力の向上